



組合員と生産者がともに育てあう

生協の産直



- CONTENTS**
- 01 福井県の農業の現状
 - 03 生協の産直
 - 04 生産者・団体一覧
 - 05 安全・安心の取り組み

2026



福井県の農業の現状

福井県の農業は、高齢化が進んでおり、特に山間地域では人口減少や荒廃農地の増加による鳥獣被害が深刻化し農業を行う人が減ってきています。(※1)一方で地域農業の重要な「担い手」として集落営農組織の設立が進み、その法人化も進んでいます。(※2)営農は稲作が中心で、農業産出額のほとんどは米ですが、農業だ

けで生計を立てることが難しく、兼業する農家が多くなっています。また、福井県のカローリーベースでの食料自給率は64%ですが、米を含む穀類を除くと11%と低い状況です。この現状に対して少しでも貢献できないかと、県内外の生産者(団体)と組合員・生協で産直の活動に取り組んでいます。

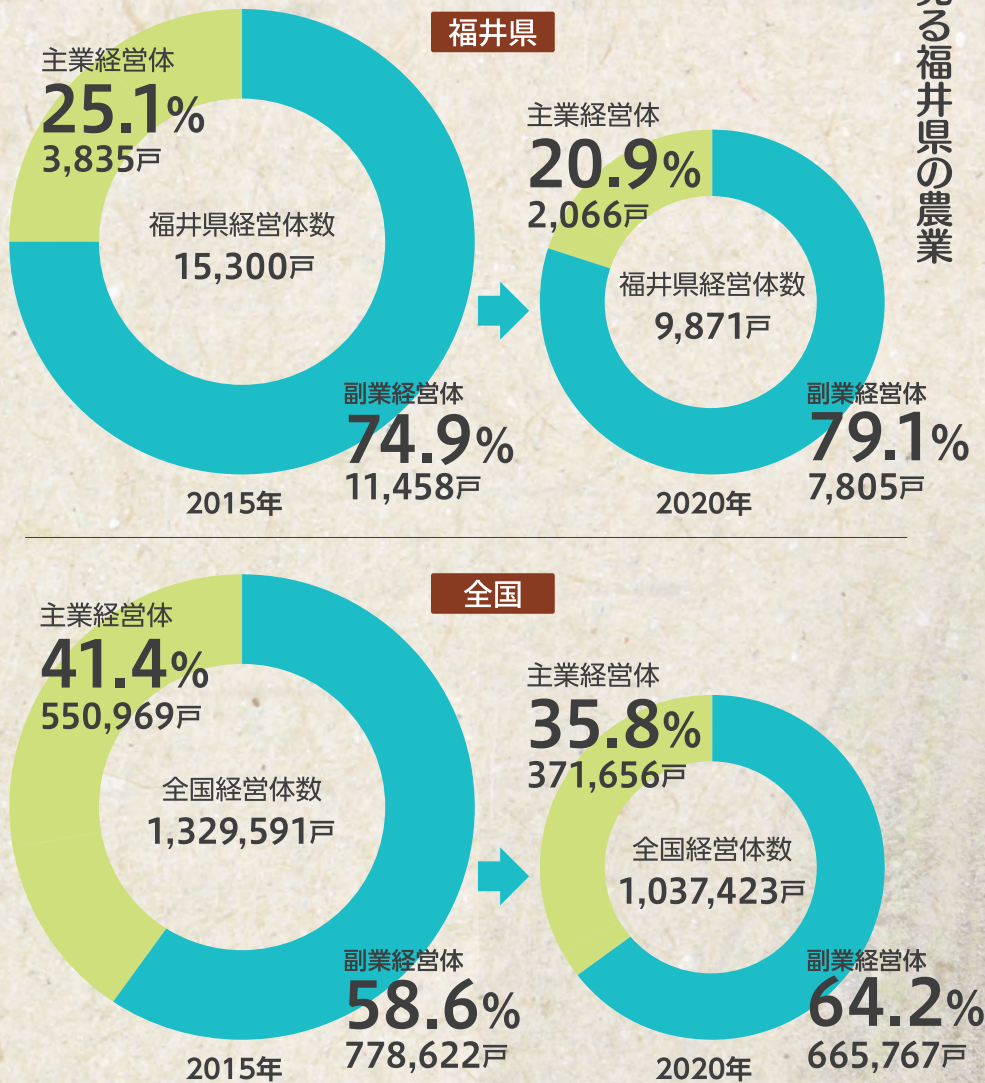
データで見る福井県の農業

(※1)「21世紀の福井の食料・農業・農村ビジョン」福井県農林水産部より
(※2)「福井県における地域農業の動向と担い手―集落営農組織を中心として―」福井県立大学経済学部教授北川太一著 農林水産政策研究所より

1. 主副業別経営体数

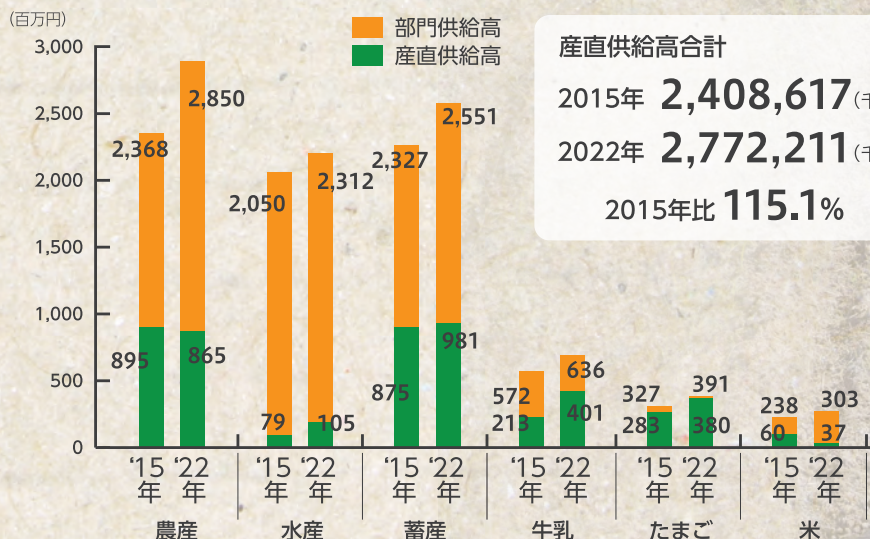
年間で60日以上農業に従事している人がいない農家は79.1%で、約8割の農家は農業以外が主業となっています。

●副業経営体の割合(年比較)



※主業経営体…年間で60日以上農業に従事している人がいる個人経営体、副業経営体…年間で60日以上農業に従事している人がいない個人経営体
※資料：2020 農林業センサス、2015 農林業センサス

県民せいきょうの部門別産直供給高



産直供給高合計
2015年 2,408,617 (千円)
2022年 2,772,211 (千円)
2015年比 115.1%

2. 農業従事者数に占める65歳以上の割合

65歳以上の割合は79.5%から82.6%と増加し、平均年齢も全国より4.3歳高くなっています。

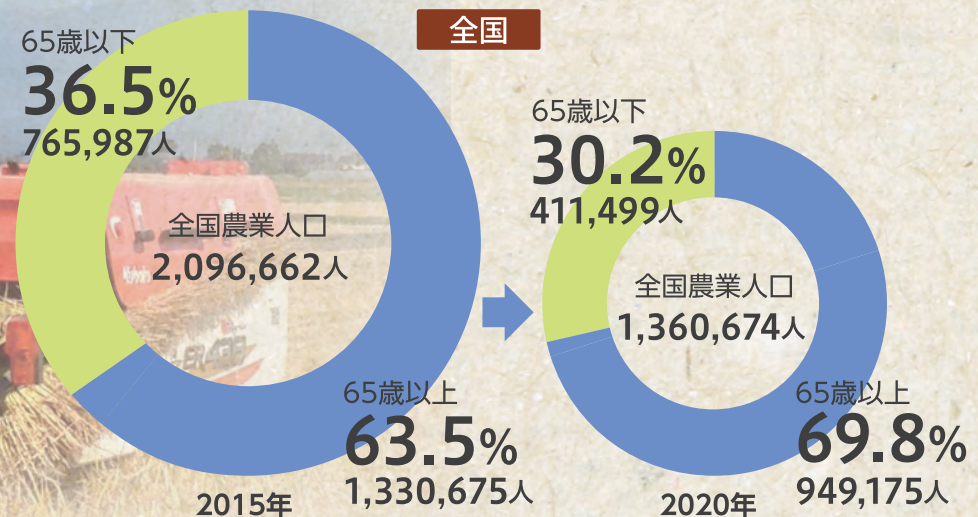
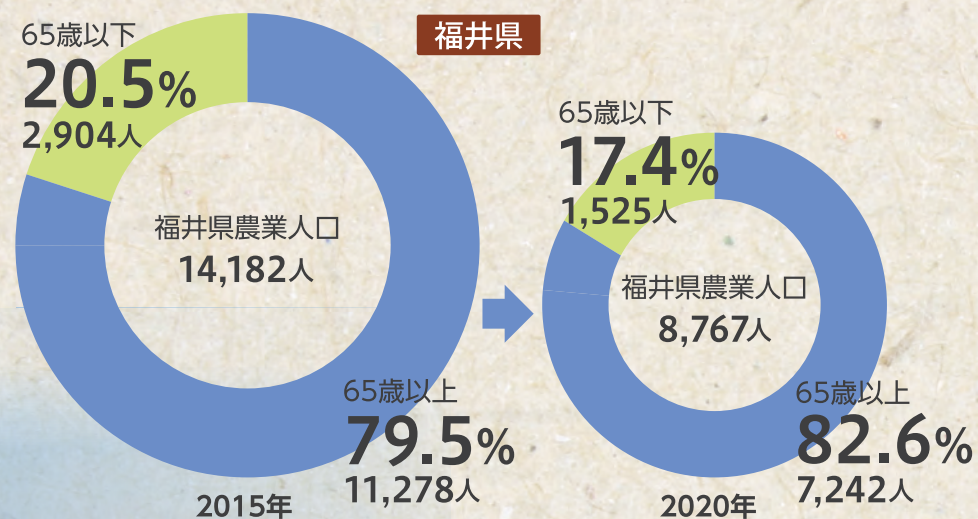
福井県

平均年齢(歳)	
2020	2015
71.4	71.2

全国

平均年齢(歳)	
2020	2015
67.1	67.0

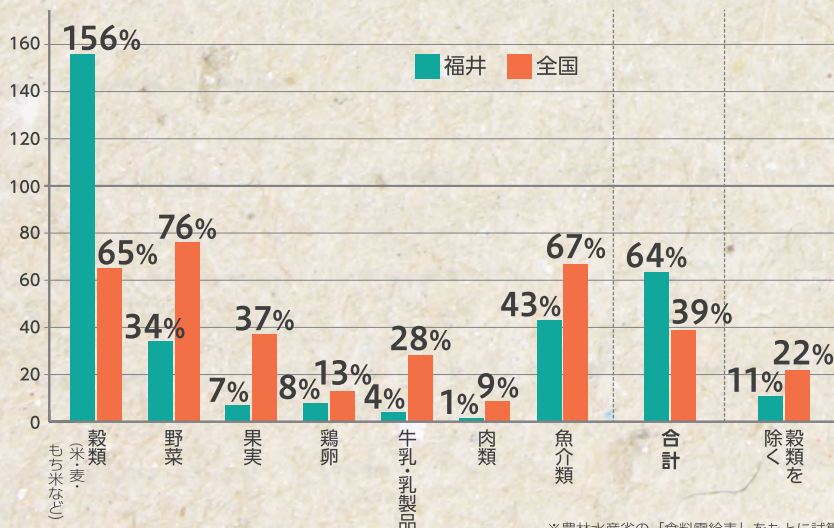
●65歳以上の割合(年比較)



※資料：2020 農林業センサス、2015 農林業センサス

3. 食料自給率の割合 (令和2年度)

福井県のカロリーベース自給率は64%ですが、お米を含む穀類(156%)に対し、お米を除く自給率(11%)はかなり低いことから、福井県の食料自給率の大半はお米で占めていることがわかります。



※農林水産省の「食料需給表」をもとに試算

組合員と生産者がともに育てあう

生協の産直

食の安全・安心を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流を通して、ともに育てあう」生協の産直活動。収穫体験や交流会なども産直活動の一つです。お互いの顔が見えることで、信頼関係も深まります。

産直協議会

県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営しています。

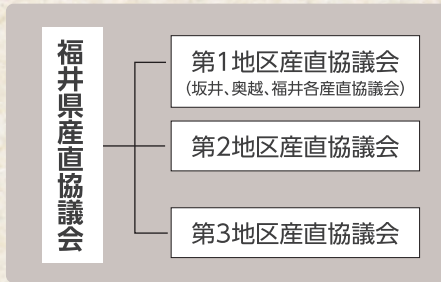
【設立趣旨】

産直協議会は、福井県民生活協同組合の産直事業を通して、組合員と生産者が協同し、安全・安心な食料確保・地産地消・食料自給率向上・環境保全・資源循環などに取り組み、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることを目的とします。

【活動内容】

1. 組合員の食生活に寄与する
2. 組合員と生産者の交流・学習の機会をつくり、相互理解を深める
3. 産直基金制度の確立と基金の管理を行う
4. 有機栽培・減農薬栽培を広げる取り組みを進め、環境保全に寄与する
5. 耕作放棄地や生産者後継者不足などに対応した取り組みを進める

組織図



県民せいきよつの産直三原則

1
生産者が
明確であること

三原則 1
生産地だけでなく、作っている生産者も明確です。
現在、県民せいきよつでは、県内62、県外21生産者・団体が産直協議会に加入しています。



↑みよしファーム 三好俊之さん

2
生産物の
素性が明確であり、
組合員の願いを
反映した
内容であること



↑肥培管理点検の様子

三原則 2
作物の品種や肥培管理（農薬や肥料の使用状況、流通経路などが明確になっていて、「できるだけ農薬や化学肥料を使わない」といった組合員の願いを反映しています。



↑肥培管理表

3
生産者と
組合員との交流に
基づいた
商品活動が行われ、
協力し合うことが
確認できること



↑産地見学会の様子

三原則 3
「産地見学や「交流会」、ハーツでの「産直市」などを通じて、生産者と組合員の相互理解を進めます。

第1地区			第2地区			第3地区		
生産者・団体	所在地	主な品目名	生産者・団体	所在地	主な品目名	生産者・団体	所在地	主な品目名
1 (有)アクト商会	あわら市	ブルーベリー	57 (株)無限大	美浜町	ミディトマト	57 (株)無限大	美浜町	ミディトマト
2 (有)あわら農楽ファーム	あわら市	米	58 JA福井県 若狭基幹支店	小浜市	ポン菓子	58 JA福井県 若狭基幹支店	小浜市	ポン菓子
3 石黒農園	あわら市	野菜苗	59 やさいのはらね	小浜市	トマト	59 やさいのはらね	小浜市	トマト
4 黒川産業	あわら市	福地鶏のたまご	60 (株)おおい	おおい町	椎茸加工品	60 (株)おおい	おおい町	椎茸加工品
5 JA福井県 坂井基幹支店	あわら市	メロン	61 (株)福井和郷	高浜町	ミディトマト	61 (株)福井和郷	高浜町	ミディトマト
6 特定非営利活動法人 ピアファーム	あわら市	梨、ぶどう	62 (有)どさんこ農産センター	北海道	ミニトマト	62 (有)どさんこ農産センター	北海道	ミニトマト
7 (株)フィールドワークス	あわら市	さつまいも	63 (有)津軽産直組合	青森県	りんご	63 (有)津軽産直組合	青森県	りんご
8 山岸農園	あわら市	いちご	64 長井生協出荷グループ	山形県	さくらんぼ	64 長井生協出荷グループ	山形県	さくらんぼ
9 山下農園	あわら市	ミディトマト	65 信州産直組合	長野県	りんご	65 信州産直組合	長野県	りんご
10 越後農園	坂井市	梨	66 (株)ハーツ	長野県	えのき茸	66 (株)ハーツ	長野県	えのき茸
11 関東日本フード(株)	坂井市	さくら豚	67 (株)サラダコスモ	岐阜県	もやし	67 (株)サラダコスモ	岐阜県	もやし
12 きた屋フーズ	坂井市	なめこ	68 松任梨栽培研究会	石川県	梨	68 松任梨栽培研究会	石川県	梨
13 国京農園	坂井市	メロン	69 (有)さくさく村	富山県	干柿	69 (有)さくさく村	富山県	干柿
14 (株)サカイ食品	坂井市	旨味鶏	70 (株)森の環	富山県	菌床しいたけ	70 (株)森の環	富山県	菌床しいたけ
15 林農園	坂井市	トマト	71 日本酪農協同(株)	滋賀県	牛乳	71 日本酪農協同(株)	滋賀県	牛乳
16 (株)アグリフーズ福井	坂井市	米	72 (株)スミフルプロセスネットワーク	兵庫県	バナナ	72 (株)スミフルプロセスネットワーク	兵庫県	バナナ
17 (株)本原農園	坂井市	メロン	73 (株)ズッカ	兵庫県	栗マロンかぼちゃ	73 (株)ズッカ	兵庫県	栗マロンかぼちゃ
18 永平寺やさい村	永平寺町	とうもろこし	74 (株)カミチク	大阪府	九州黒牛	74 (株)カミチク	大阪府	九州黒牛
19 越前ぎんなん生産組合	永平寺町	ぎんなん	75 (有)なかむら農園	大阪府	デラウェア	75 (有)なかむら農園	大阪府	デラウェア
20 JA福井県 永平寺農業施設センター	永平寺町	焼肉タレ	76 紀ノ川農業協同組合	和歌山県	みかん	76 紀ノ川農業協同組合	和歌山県	みかん
21 SFV生産農場	大野市	里芋	77 美吉野農園	奈良県	柿	77 美吉野農園	奈良県	柿
22 JA福井県 奥越基幹支店	大野市	米	78 濱野農園グループ	広島県	柑橘類	78 濱野農園グループ	広島県	柑橘類
23 (株)昇竜	大野市	九頭竜まいたけ	79 (株)秋川牧園	山口県	秋川鶏	79 (株)秋川牧園	山口県	秋川鶏
24 松川農園	勝山市	青ねぎ	80 愛媛産直センター	愛媛県	みかん	80 愛媛産直センター	愛媛県	みかん
25 小西農園	福井市	白ねぎ	81 大三島生産者出荷組合	愛媛県	柑橘類	81 大三島生産者出荷組合	愛媛県	柑橘類
26 佐野生協グループ	福井市	きゅうり	82 丸陣生産出荷組合	福岡県	みかん	82 丸陣生産出荷組合	福岡県	みかん
27 JA福井県 福井中央精米センター	福井市	米	83 ぶくいレインボーファーム(株)	あわら市 敦賀市	キャベツ他	83 ぶくいレインボーファーム(株)	あわら市 敦賀市	キャベツ他
28 (株)土田鶏卵	福井市	さくらたまご						
29 ホクチク	福井市	若狭牛						
30 中橋農園	福井市	ほうれん草						
31 農園たや	福井市	ベビーリーフ						
32 福井中央魚市(株)	福井市	ぶくいサーモン						
33 フジタファーム	福井市	トマト						
34 ブルーベリー園 味彩	福井市	ブルーベリー						
35 みよしファーム	福井市	大根						
36 福井パールライス(株)	福井市	米(JGAP認証取得)						
37 福井シード(株)	福井市	野菜苗、花苗						
38 特定非営利活動法人 小さな種・こころ	鯖江市	原木椎茸						
39 徳橋農場(株)	鯖江市	にんにく						
40 (株)コープ武生	越前市	米						
41 JA福井県 丹生基幹支店	越前市	竹の子水煮						
42 明城ファーム(株)	越前市	トマト						
43 丹生寺坂農園(株)	越前町	米、味噌						
44 (有)河原製粉所	越前町	そば粉						
45 (株)田んぼの天使	越前町	米						
46 陶芸の里農産組合	越前町	餅						
47 山本農園	越前町	すいか						
48 あおぎり自然農法グループ	敦賀市	野菜全般						
49 笹山農園	敦賀市	堆肥						
50 JA福井県 敦賀美方基幹支店	敦賀市	梅加工品						
51 豊茸ファーム	敦賀市	生しいたけ(菌床)						
52 (有)気ごころや	若狭町	プロッコリー						
53 クリスファーム	若狭町	米						
54 よしむら農園	若狭町	米						
55 渡辺農園	若狭町	梅						
56 地元カラー(株)	美浜町	味噌						

産直生産者・団体数



安全・安心の取り組み

栽培・肥培(肥育)管理

作物の肥培方法を明確にするため、産直生産者は肥料や農薬の種類、使用量、使用時期などを肥培管理表に記録し、事務局が管理しています。



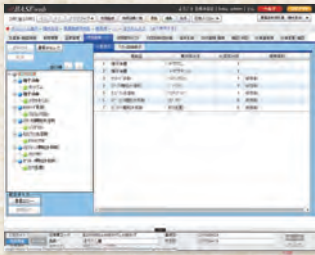
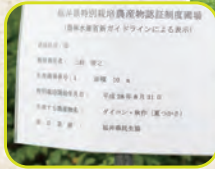
↑肥培管理点検の様子



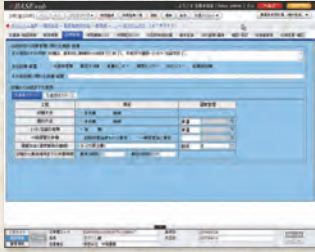
肥培管理表



↑みよしファーム 三好俊之さん



使用農薬管理



施設管理

適正農業規範による点検

適正農業規範(県民せいきょう版GAP)の点検表に基づき、生産者と生協が一緒に点検を行い、農産物の生産から流通の品質や安全性を高めています。

5つのポイント

①法令の遵守と産直活動の理解

●農産物に関する考え方や、農産物に関する法令の遵守、組合員・職員との交流について意思確認等を行います。

②農産物の安全性確保

●栽培計画書の作成、保管を点検します。

●農薬や肥料の購入伝票管理、使用記録、保管方法を点検します。

●圃場、施設、農薬・運搬器具の衛生管理を点検します。

③農産物のトレーサビリティ、および適正な表示の確保

●農薬、肥料状況を確認します。

●農産物への異物混入防止のための手立てをとっているかを点検します。

●収穫後、出荷までの工程管理において、品質・出荷基準の遵守を点検します。

●包材、ラベル、生産者カードに記載されている内容に間違いがないか点検します。

④環境保全型農業の推進

●農薬の空容器や、使用済みの農業資材が適切に保管され、処分されているかを点検します。

⑤農業者の安全と健康の確保

●作業者が定期健診を受けているかを確認します。

●圃場・作業場での危険な作業や場所を把握し、安全を確保しているかを点検します。

残留農薬検査

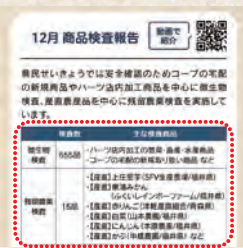
産直生産者の農産物は、収穫時期に応じてサンプリング検査にて245の化合物の残留農薬検査を実施し、基準を超えて残留していないかを確認しています。

残留農薬試験検査結果書

検査結果は、ハーツ店頭やホームページ、情報誌「がんばらにゃ」で公表しています。



ホームページ「食の安全・商品情報」



情報誌「がんばらにゃ」

組合員・生産者交流

県内3つの地区産直協議会や産地バスツアーでは、年間を通してさまざまな交流会を開催しています。産地見学はもちろん、収穫体験、また収穫した野菜を使った料理教室など、生産者と組合員、そして職員がふれあい交流することで、産直商品のこだわりや特徴をより実感することができます。



第1地区産直協議会
『さといも掘り取り体験会』
SFV生産農場

参加者の声

- ・普段は綺麗な状態のさといもしか見ていないのですが、土落としなど大変さとおりがたさを感じることができました。
- ・さといもの美味しさを味わえました。子供達も楽しんでいました。



第2地区産直協議会
『生き物・ほたる観察会』
田んぼの天使

参加者の声

- ・自分でホテルを見に行けないので参加しました。楽しい時間を過ごさせてもらいました。
- ・有機米をこだわって栽培していることがわかりました。



第3地区産直協議会
『田植え体験』
クリスファーム

参加者の声

- ・手植え、田植え機での田植えのどちらも体験出来て楽しかったです。
- ・田植え機がなかった時代の大変さを知る事ができました。



産地バスツアー
『だいこん収穫体験』
本原農園

参加者の声

- ・生産過程の説明など大変わかりやすかったです。私たちが購入するまでにご苦労されている事を知り、感謝の気持ちを持って食べたいと思いました。
- ・生産者の方々の声が聞けてとても良かったです。

組合員活動や産地バスツアーの様子をブログで紹介しています。

生協の産直 福井県民生協

検索



産直活動の歩み

- 1978年 福井市川西地区水切町のじゃがいもから産直活動が始まる
- 1986年 産直牛一頭買い
- 1988年 葉野菜産直研究会の結成。無農薬ほうれん草の取り組み開始
- 1989年 上庄農協と産直提携。準コープ米の産直開始
- 1990年 りんごオーナー制度開始
- 1991年 福井県産直協議会設立準備委員会発足
- 1992年 福井県産直協議会設立総会開催
地域別協議会設立準備委員会結成
産直基金の契約を開始
- 1993年 コープ米開始
- 1994年 坂井地域産直協議会設立
福井地域産直協議会設立
お米クラブ(定期登録)開始
- 1995年 丹南地域産直協議会設立
- 1996年 奥越地域産直協議会設立
産直基金の価格補填基金を商品育成基金に変更し、
産直品の利用普及を図る
ハーツ羽水オープン「生産農場産直広場」で産直品の供給を行う
- 1997年 敦賀地域産直協議会設立
- 1998年 台風7号、10号による被害に見舞金を給付
- 2001年 第10回総会開催 10周年記念レセプション開催
- 2004年 牛乳・たまごクラブ(定期登録)開始
トレーサビリティ取り組み開始
- 2006年 ポジティブリスト制度開始
- 2007年 食の安全・安心の取り組みを強化
- 2010年 県民せいきょう版GAP導入
- 2011年 農産加工センター稼働
Heartsやさしい味わい福井県産牛乳の開発
- 2012年 食材セット「パパッとCOOK」で産直野菜メニュー開発
産地メーカー交流 たんぽぽツアー開始
越前たけふ農業協同組合と「農産物普及促進に関する協力協定」を締結
- 2015年 敦賀美方農業協同組合より店舗を継承(ハーツ三方五湖)
- 2016年 ふくいレインボーファーム設立
福井県経済農業協同組合連合会と「ふくい地産地消をすすめる協定」を締結
地域協議会を地区協議会に再編
- 2017年 花咲ふくい農業協同組合と「地産地消をすすめる協定」を締結
- 2018年 食品加工センターが稼働
産直商品を使用した惣菜などの供給を開始
- 2019年 子ども食堂へ産直商品の規格外品提供を開始
産直牛として「九州黒牛」がデビュー
- 2021年 福井県産直協議会30周年セールを開催
- 2022年 産地規格外品を使用した「もったいない野菜企画」を開始



生協の産直 2026

福井県産直協議会 2026年3月発行

COOP 県民せいきょう

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井県福井市開発5丁目1603番地

県民せいきょうコールセンター

0120-016-165

●ホームページ

県民せいきょう

検索



受付時間 月～金/午前8時30分～午後8:00 土曜日/午前9時～午後5時

※おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。